

# 古部賢

# 鈴木大介



室内楽シリーズ  
オーボエとギターのおしゃれな時間



## Program

A.マルチエロ (J.S.バッハ編) : オーボエ協奏曲 BWV 974  
Alessandro Marcello/Johann Sebastian Bach: Oboe Concerto BWV 974

D.チマローザ (A.ベンジャミン編) : オーボエ協奏曲  
Domenico Cimarosa/Arthur Benjamin: Oboe Concerto

E.モリコーネ: ニュー・シネマ・パラダイス  
Ennio Morricone: Nuovo Cinema Paradiso

A.C.ジョビン: イバネマの娘

Antônio Carlos Braga de Almeida Jobim: Garota de Ipanema

A.ピアソラ: タンゴの歴史 — カフェ1930

Astor Piazzolla: Histoire du Tango (History of the Tango) II. Café 1930

A.ピアソラ: リベルタンゴ

Astor Piazzolla: Libertango

etc

柔らかく甘い音色が魅惑的なオーボエ奏者、古部賢一と、多彩な活動で常に注目され続けているギタリスト、鈴木大介による室内楽コンサート。共に実力と人気を兼ね備え、今や、まさに充実の時を経ていている二人が、ピアソラから聴きごたえのあるクラシック作品まで、幅広いレパートリーを披露します。

2017年 6月18日(日) 15:00 開演(14:30開場) 成城ホール Seijo Hall

全席指定(税込) 一般 ¥3,500 / せたがやアーツカード・世田谷パブリックシアター友の会 ¥3,000 (通常料金)

世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515 (10:00~19:00) ©2017年3月16日(木)発売開始

\*実物券入替不可 \*座席予スペースあり (追加あり・要手取) 以降割引券の10%OFFまでチケットセンターまでお申込みください。

\*券面など公演の内容が、変更となることがあります。あらかじめご了承ください。

主催=セトガホルムズ 公益財團法人せたがや文化財団 音楽事業部

後援=世田谷区/世田谷区教育委員会 協力=松本記念音楽演習所/（株）世田谷サービス公社エフエム世田谷/（有）太子堂楽器店

# 古部賢一 & 鈴木大介

室内楽シリーズ | オーボエとギターのおしゃれな時間

2017年6月18日(日) 15:00開演(14:30開場) 成城ホール



古部賢一



鈴木大介

チケット 全席指定(税込)

一般	¥3,500
せたがやアーツカード・世田谷パブリックシアター友の会(前売りのみ)	¥3,000

チケット販売

世田谷パブリックシアター チケットセンター

03-5432-1515 (10:00~19:00)

オンラインチケット(要事前登録)

[http://setagaya-pt.jp/ticket\\_buy/](http://setagaya-pt.jp/ticket_buy/) (PC)

<http://setagaya-pt.jp/m/> (携帯)

\* 葵鳩子スペース&セレクト(定員あり・予約制)

云渡前日の19:00までにチケットセンターまでお申込ください。

チケット  
3月16日(木)  
発売開始

せたがやアーツカード

15歳以上の世田谷区民の方ならびに、どなたでも入会金・会員登録料でご登録いただけます。  
詳細・お申込は、世田谷パブリックシアターチケットセンターまたはオンラインチケットへ。

会場・アクセス



成城ホール 世田谷区成城6-2-1

● 葵一丁目急行 [成城駅前] 下車 徒歩4分

● バス ①成01・02・04・05・06・07・21(成城学園前駅西口) 下車 徒歩5分  
②成04・都01・都02・都08・王07(成城学園前駅東口) 下車 徒歩4分

\* 車を停めていませんので、電車・バスをご利用ください。

古部賢一(オーボエ) FURUBE Kenichi, oboe

東京藝術大学卒業後、ミュンヘン音楽大学大学院にて学ぶ。現在新日本フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者として在籍するほか、ソリスト、室内楽奏者としても活躍。これまでに、ハンブルク北ドイツ放送管、ベルリン・ドイツ管、シュトゥットガルト室内管などにも客演首席奏者として招かれている。札幌大谷大学芸術学部音楽学科客員教授、東京音楽大学、相模音楽大学非常勤講師。第10回出光音楽賞受賞。大阪生まれ。

鈴木大介(ギター) SUZUKI Daisuke, guitar

武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されたギタリスト。斬新なレパートリーと鮮やかな解釈によるアルバム制作はいずれも高い評価を受け、2005年にはアルバム「カタロニア譜歌—島の歌／禁じられた遊び～」が芸術祭優秀賞受賞。ほかに、平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、第10回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。

主催・お問合せ

公益財団法人せたがや文化財団 音楽事業部

Tel 03-5432-1505(月~金 10:00~18:00)

〒154-0004 世田谷区大字墨4-1-1キヤロットワード

<http://www.setagayamusic-pit.com/>



せたがや  
音楽

# 鈴木大介

*guitar*

室内楽シリーズ

オーボエとギターのおしゃれな時間

古部 賢一  
*ohoe*

2017年6月18日(日)15:00開演 成城ホール

主催=公益財団法人せたがや文化財団 音楽事業部 

後援=世田谷区／世田谷区教育委員会

協力=松本記念音楽迎賓館／世田谷サービス公社エフエム世田谷／南太子堂楽器店

G.P.テレマン  
Georg Philipp Telemann

オーボエ・ソナタイ短調  
Oboe Sonata in A Minor TWV41: a3

I. Siciliana II. Spirituoso  
III. Andante IV. Vivace

A.マルチェッロ (J.S.バッハ編)  
Alessandro Marcello  
/Johann Sebastian Bach

オーボエ協奏曲 BWV 974  
Oboe Concerto BWV 974

I. Andante e Spiccato II. Adagio III. Presto

D.チマローザ (A.ベンジャミン編)  
Domenico Cimarosa  
/Arthur Benjamin

オーボエ協奏曲  
Oboe Concerto  
I. Introduzione: Larghetto II. Allegro  
III. Siciliana IV. Allegro giusto

\* \* \*

B.ブリテン  
Benjamin Britten

オヴィディウスによる6つのメタモルフォーゼ より  
6 metamorphoses after Ovid Op.49 <oboe solo>

M.ラヴェル  
Maurice Ravel

ハバネラ形式の小品  
Piece en forme de habanera

E.モリコーネ (鈴木大介編)  
Ennio Morricone/Daisuke Suzuki

ニュー・シネマ・パラダイス  
Nuovo Cinema Paradiso

Love theme - Childhood and Manhood - Maturity  
—Cinema Paradiso

A.C.ジョビン  
Antônio Carlos Jobim

イパネマの娘  
Garota de Ipanema

C.マシャド  
Celso Machado

涙のないショーロ  
Chôro Sem Lagrimas

H.ヴィラ=ロボス  
Heitor Villa-Lobos

ショティッシュ・ショーロ  
Schottish Choro <guitar solo>

M.プホール  
Maximo Diego Pujol

ポンペイヤ  
Pompeia

A.ピアソラ  
Astor Piazzolla

タンゴの歴史 - カフェ1930  
Histoire du Tango (History of the Tango): II. Cafe 1930

A.ピアソラ  
Astor Piazzolla

リベルタンゴ  
Libertango

オーボエとギターの二重奏は珍しい組み合わせといえるであろう。本日演奏する古部賢一と鈴木大介のデュオも最初はレパートリーに苦労したという。ギターとオーボエのためのオリジナル作品はほとんどなく、彼らはバロック音楽などを自分たちの手でアレンジしたりするほかなかった。十数年、一緒に演奏をするにつれて、オリジナル曲(新作)や編曲物など、レパートリーは増え、2つの楽器の難しい音量のバランスも自然に取れるようになったという。

本日は、彼らのレパートリーの原点ともいべき、バロック音楽からスタートする。

ゲオルク・フィリップ・テレマン(1681~1767)は、ドイツ・バロック音楽を代表する作曲家の一人。この「オーボエ・ソナタイ短調 TWV41:a3」は、ゆったりとした12分の8拍子の「シチリアーナ」、生き生きとした「スピリトゥオーゾ」、優美な「アンダンテ」、オーボエが高速パッセージを華麗に奏でる「ヴィヴァーチェ」という緩・急・緩・急の4つの楽章からなる。

アレッサンドロ・マルチェッロ(1669~1747)は、イタリアのヴェネツィアで活躍した作曲家。マルチェッロのオーボエ協奏曲をヨハン・セバスティアン・バッハ(1685~1750)がチェンバロ用に編曲したもの(BWV974)があり、本日は、バッハの編曲をギター・パートに取り入れた版が演奏される。「アンダンテ・エ・スピッカート」、「アダージョ」、「プレスト」の3つの楽章からなり、第2楽章「アダージョ」は、映画「ベニスの愛」(1970年、チブリアーニ監督)で使われて広く知られるようになった。

イタリアのドメニコ・チマローザ(1749~1801)のオーボエ協奏曲は、実際には、イギリスの作曲家アーサー・ベンジャミン(1893~1960)がチマローザのチェンバロ・ソナタを自由にオーボエ協奏曲に編み直したものである。「序奏、ラルゲット」、「アレグロ」、「シチリアーナ」、「アレグロ・ジュスト」という緩・急・緩・急の4つの楽章からなる。

ベンジャミン・プリテン(1913~1976)は20世紀イギリスを代表する作曲家。彼が1951年に作曲した「オヴィディウスによる6つのメタモルフォーゼ」は珍しい無伴奏オーボエのための作品。今日はそのなかから1曲が演奏される。オヴィディウスは帝政ローマ時代の詩人。

続いてはラテン系の音楽。

モーリス・ラヴェル(1875~1937)は、フランス近代を代表する作曲家であるが、母親がバスク系であり、スペインに近いバスク地方で生まれた。「ハバネラ形式の小品」はもとも

と歌詞を持たない声楽曲(ヴォカリーズ)として書かれた。ハバネラのオリジナルはキューバの民族舞曲。独特的リズムにのって、悲哀を帯びた旋律が歌われる。

エンニオ・モリコーネ(1928年ローマ生まれ)は、イタリアを代表する映画音楽作曲家。1960年代にマカロニ・ウエスタン映画の音楽で知られるようになる。トルナトーレ監督の「ニュー・シネマ・バラダイス」(1988)は、シチリア島の映写技師と少年の心温まる親交を描く。本日は鈴木大介の編曲により、切ない「愛の主題」、軽快な前半と深みのある後半からなる「子供と大人」、「大人」、テーマ曲である「ニュー・シネマ・バラダイス」が続けて演奏される。

ブラジルのアントニオ・カルロス・ジョビン(1927~1994)が1962年に作曲した「イバネマの娘」は最もよく知られているボサノヴァに違いない。イバネマとは、リオデジャネイロにあるイバネマ海岸のこと。鈴木大介の洗練されたアレンジも楽しみ。

セルソ・マシャド(1953年生まれ)は、ブラジルのギタリスト。ブラジルの大衆音楽ショーロはもともと「泣く(chorar)」という言葉から生まれたといわれている。本日は「涙のないショーロ」が演奏される。

エイトル・ヴィラ=ロボス(1887~1959)は、ブラジルを代表する作曲家。「ブラジル風パッハ」の連作などで知られる。「ショティッシュ・ショーロ」は「ブラジル民謡組曲」の第2曲。「ショティッシュ」とは、「スコットランド風の」という意味。ギター・ソロでの演奏。

そしてアルゼンチン・タンゴ。

マキシモ・ホール(1957年生まれ)は、アルゼンチンのギタリスト&作曲家。「ポンペイヤ」は「プエノスアイレス組曲」の1曲目。

アルゼンチン出身のアストル・ピアソラ(1912~1992)は、バンドネオン奏者として活躍し、作曲にも取り組んだ。彼は、タンゴにクラシックやジャズの要素を取り入れ、踊るためではない、聴くための洗練されたタンゴを生み出した。それゆえに「タンゴの革命家」ともいわれる。「カフェ 1930」は「タンゴの歴史」の第2曲。「タンゴの歴史」はもともとフルートとギターのために1985年に作曲されたが、今は、様々な楽器で演奏されている。

「リベルタンゴ」は、ピアソラがヨーロッパで活動を本格化させた1974年に作曲された。「リベルタンゴ」とは、スペイン語で「自由」を意味する「リベルタ」と「タンゴ」とを結びつけた造語。これも鈴木大介がアレンジを手掛ける。

古部 賢一 (オーボエ) FURUBE Ken'ichi (Oboe)



(C)土居政則

東京藝術大学卒業後、ミュンヘン音楽大学大学院にて学ぶ。現在新日本フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者として在籍するほか、ソリスト、室内楽奏者としても活躍。これまでに、ハンブルク北ドイツ放送響、ベルリン・ドイツ響、シュトゥットガルト室内管などにも客演首席奏者として招かれている。札幌大谷大学芸術学部音楽学科客員教授、東京音楽大学、相愛音楽大学非常勤講師。第10回出光音楽賞受賞。大阪生まれ。

鈴木 大介 (ギター) SUZUKI Daisuke (Guitar)



武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されたギタリスト。斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作はいずれも高い評価を受け、2005年にはアルバム「カタロニア讃歌～鳥の歌／禁じられた遊び～」が芸術祭優秀賞受賞。ほかに、平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、第10回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。

せたがや文化財団 音楽事業部主催 成城ホールでの公演



◆2017年10月9日(月・祝) 15:00開演 一般:3,500円 アーツカード・Sept友の会:3,000円  
室内楽シリーズ 「山崎伸子 チェロ・リサイタル」 7月6日発売開始

山崎伸子(チェロ) 加藤洋之(ピアノ)

J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第2番

R.シュトラウス:チェロ・ソナタ へ長調 作品6 他

◆2018年3月2日(金) 19:00開演

異分野とのコラボレーション「建築と音楽」(予定)

池辺晋一郎(企画/お話) 他

\*詳細は「せたおん」HPで12月発表予定